

あわら 市議会だより



第45号

平成27年7月15日 発行



Contents

議長、副議長を選出	2p
6月定例会報告	4p
委員会報告	5p
一般質問	8p
請願・意見書	12p
議会トピックス	13p
議案と結果	13p
ふるさと探訪	14p

6月13、14日に清風荘において開催した全国かるた福井大会の様子です。

市が展開している通年イベント「ちはやふる week in awara」の一環として開かれました。

議会がインターネットで視聴できます。

[あわら市議会インターネット中継](#)

[検索](#)

常任委員会 構成

総務文教常任委員会

総務部、財政部、教育委員会、会計課、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会および固定資産評価審査委員会の所管に関する事項並びに他の常任委員会の所管に属さない事項の審査、調査を行います。



厚生経済常任委員会

市民福祉部、経済産業部、土木部、芦原温泉上水道財産区水道部および農業委員会の所管に関する事項の審査、調査を行います。



議会運営委員会・常任委員会・特別委員会 構成

議会運営委員会 (6名)	委員長 向山 信博 委員 山本 篤 森 之嗣 山田 重喜 三上 薫	副委員長 杉田 剛
広報編集 特別委員会 (7名)	委員長 三上 薫 委員 仁佐 一三 平野 時夫 毛利 純雄 山川知一郎 卯目ひろみ	副委員長 吉田 太一
環境対策調査 特別委員会 (8名)	委員長 山田 重喜 委員 仁佐 一三 杉本 隆洋 山本 篤 三上 薫 毛利 純雄 山川 豊	副委員長 山川知一郎
市街地活性化調査 特別委員会 (9名)	委員長 卯目ひろみ 委員 吉田 太一 北島 登 森 之嗣 向山 信博 平野 時夫 八木 秀雄 杉田 剛 笹原 幸信	副委員長 平野 時夫
議会活性化 特別委員会 (7名)	委員長 山川知一郎 委員 仁佐 一三 卯目ひろみ 三上 薫 山川 豊 北島 登 八木 秀雄	副委員長 北島 登
監査委員 笹原 幸信	あわら市の財務や事業について監査を行います。	

※議長はすべての委員会にオブザーバーとして出席します。

6月定例会
新たな議会の構成決まる
坪田 正武 議長、三上 薫 副議長を選出

6月30日、第78回あわら市議会定例会最終日において、議長、副議長の選挙が行われたほか、常任委員会など、今後の議会運営で必要な議会の組織が決まりました。

就任のあいさつ

このたび、6月定例会におきまして、議員各位のご推挙により、議長、副議長に就任いたしました。身に余る光栄と感激いたしますとともに、責任の重さを痛感しているところでございます。公正かつ円滑な議会運営に取り組み決意であります。

さて、地方の人口減少が社会問題化するなか、地方創生の名のもとに各自治体は「地方版総合戦略」を策定し地域が競い合う時代であります。あわら市におきましても、本年開催する開湯130周年祭、平成30年の福井国体、更には北陸新幹線敦賀延伸など、地域活性化の目玉となるような事業が多く控えております。この機はチャンスであり、地域間競争を勝ち抜くための非常に大切な時期を迎えております。

私たち市議会は、従来の慣例にとらわれることなく、より一層の創意工夫と努力を積み重ねるとともに、行政当局との真摯な議論により、有効な政策を推進し、諸課題の解決に全力を尽くしてまいります。

市民の皆様には、今後とも市議会の活動や市政について、ご理解とご協力をお願い申し上げます。就任のあいさつといたします。



議長 坪田 正武



副議長 三上 薫



議長選挙の様子

6月定例会

平成27年度一般会計補正予算(第1号)

5億6,449万8千円を増額

加賀市議会・あわら市議会友好交流議員連盟 中央要請(6月8日)



- 一般会計予算総額は139億449万8千円に
- 教育長に大代 紀夫 氏の任命に同意
- 温泉情緒あふれる華やぎのまちづくり事業 27年度は1億2,355万6千円
- 平成30年開催の福井国体に向け、基金を設置

平成27年6月定例会が6月5日から30日までの会期で開催されました。今定例会では、環境対策調査特別委員会、市街地活性化調査特別委員会の中間報告が行われ、繰越計算書の報告に関する4議案を受理しました。そして、専決処分の承認を求める1議案、補正予算に関する1議案、条例の制定及び改正に関する2議案、人事に関する2議案の計6議案が上程され、すべて原案のとおり可決しました。

なお、平成27年度一般会計補正予算は、当初予算が骨格予算であったため、政策的事業が多くあり大型の補正予算となっております。

また、今回は6名の議員が一般質問を行い、理事者に対して市政をただしました。その他、請願1件を不採択、陳情1件を趣旨採択とし、議員発議による意見書2件を可決しました。

議会日誌

おもな会議のみ掲載

- 3月20日 広報編集特別委員会
- 25日 広報編集特別委員会
- 31日 加賀市議会・あわら市議会 友好交流議員連盟役員会
- 4月1日 総務文教常任委員会
- 2日 広報編集特別委員会 全員協議会
- 14日 加賀市議会・あわら市議会 友好交流議員連盟定期総会
- 5月7日 市街地活性化調査特別委員会
- 11日 厚生経済常任委員会協議会 議会運営委員会・全員協議会
- 第77回議会臨時会
- 13日 環境対策調査特別委員会
- 22日 厚生経済常任委員会協議会
- 26日 行政視察(下妻市)(27日まで) 議会運営委員会
- 29日 議会運営委員会
- 6月1日 全員協議会
- 5日 第78回議会定例会 開会
- 議会活性化特別委員会
- 12日 第78回議会定例会・一般質問 広報編集特別委員会
- 15日 総務文教常任委員会
- 19日 総務文教常任委員会
- 22日 厚生経済常任委員会
- 23日 厚生経済常任委員会
- 29日 議会運営委員会・全員協議会 広報編集特別委員会
- 30日 第78回議会定例会 閉会



耐震補強 外付フレーム工法のイメージ

平成27年度
一般会計補正予算

■監理課

市役所庁舎耐震補強実施設計業務委託料 700万円

委員 外付立体フレーム工法を採用する予定であるが、耐震補強は様々な方法があり、安価な工法があるのではないかと。理事者 他市で行った耐震補強を参考に調査研究し、委託業務発注後、受注業者と工法について再検討したい。

■総務課

防犯灯設置事業補助金 300万円追加

委員 LED防犯灯に対する補助率1/2を29年度以降も継続するのか。理事者 先行してLED化に取り組んだ区と、今後整備する区とで、条件を同じにするわけにはいかない。例えば、標準的なLED防犯灯の上限価格を設定し、補助率1/2の継続を考えている。

■教育総務課

各小学校遊具整備工事 150万円

委員 統合を考えている小学校にも整備を予定しているのか。28年度以降

■文化学習課

文化会館耐震診断業務委託料 270万円

委員 築44年を経過している文化会館の耐震補強は、相当な費用が必要だと思ふ。底地も借地であり、耐震診断を行わず、必要な施設であるなら新築する等の決断をすべきではないか。

総務文教常任委員会

インターネット中継で審議状況をご覧になれます。



文化会館のコンサートホール

県立芦原青年の家整備事業 1千258万2千円

理事者 施設の存続を見極める時期にきたと考え、耐震診断を行いたい。耐震工事の費用や借地料を含む維持管理費など、総合的に勘案して判断したい。

委員 県立青年の家の駐車場をどうしてあわら市が整備するのか。理事者 青年の家誘致における県との合意事項の一つに、あわら市による



建設中の芦原青年の家

駐車場整備がある。また、当該駐車場は、あわら市が実施するイベント等の駐車場としても利用できると。

■備品の管理について

委員 市役所は多くの備品を保有しているが、1年に1度は備品台帳と現物の照合を行っているのか。

理事者 全庁的な一斉確認は行っていないため、今後は、所管課に毎年1回は備品台帳の確認を行うよう指導したい。

厚生経済常任委員会

インターネット中継で審議状況をご覧になれます。

平成27年度 一般会計補正予算

■市民生活課

個人番号カード (マイナンバー)等 関連事務交付金 1千24万5千円

委員 マイナンバー制度の導入により、どの程度の事務削減になるのか、また、どのような利点があるのか。



マイナンバーカード

理事者 住民票や戸籍等のコンビニ交付が大きく普及することが考えられ、

窓口での証明書発行等の事務が減少すると思う。今後、税金や年金保険関係等、様々な分野で活用するようになれば、行政コストの削減につながると思う。

あわら湯のまち駅 パークアンドライド

駐車場整備工事 230万円

委員 砂利舗装との提案だが、隣接している湯のまちグラウンド駐車場はアスファルト舗装である。最初からアスファルト舗装を施工すべきではない



駐車場予定地

か。理事者 湯のまち駅から少し離れていることもあり、利用者の状況や要望を確認しながら検討したい。当面は砂利舗装で様子を見たい。

■建設課

ふるさと創造 プロジェクト事業

本陣飾り物展示 施設整備工事 (天王区、新富区) 600万円

委員 本陣飾り物展示施設を2箇所設置するが、新たな要望が有った場合は対応するのか。

また、維持管理費はどこが負担するのか。
理事者 JR芦原温泉駅からIKOSSAまでの区域の街歩きを促すための施設であるため、2箇

所だけである。施設の維持管理費は地元区にお願いしたいと考えている。

■観光商工課

温泉情緒あふれる 華やぎのまちづく り事業

街灯整備工事 5千万円

委員 現在、観光協会が管理している街路灯は、今後どのようなのか。

理事者 観光協会が管理している街路灯については、撤去すべきものは協議の上、全て撤去したい。その後、新設する街路灯は、市と地元で設置を行い、それぞれが維持管理を行って行きたいと考えている。

JR芦原温泉駅前 トイレ改修工事 140万円

委員 北陸新幹線の開業が3年前倒しになったが、



JR芦原温泉駅前トイレ

駅前整備にトイレは該当しないのか。

理事者 駅前のロータリーの工事は平成30年度から始めると聞いている。当該トイレも駅前整備に含まれている。

しかし、「おもてなし」の観点からトイレを清潔に保つことは絶対必要であり、最小限に経費を抑えながら改修工事を行いたい。



温泉街の街路灯

環境対策調査特別委員会

当委員会は、平成25年9月議会において、市民の健全な生活環境を守り、自然環境を適正に保全するため、総合的な環境対策に関し調査することを目的に設置しました。今回は、約2年間の中間報告を行いました。当委員会として、この



視察
土砂採取場

約2年間の活動は、まず、知識習得を目的に、坂井健康福祉センターに出向き、研修を受講しまし

た。また、「ゴミ処理施設や土砂採取場など、環境に配慮しなければならぬ施設が多いことから、管内視察を行い、市内の現状把握に努めました。そして、不適切な処理を行っていた赤尾地係での不法投棄や、下番地係の産業廃棄物中間処理施設について、適正な処理をさせるよう、今後とも監視の継続を強く求

めております。主に産業廃棄物処理や土砂採取について、業者に対し法令を順守した適正な事業を求めめる活動を行ってきました。その活動が、新たな不法投棄を抑制し、業者が適正な処理を行うと考えているからです。違法な産業廃棄物処理や土砂採取、並びに不法投棄について、我々ができることは「抑止力」を向上させるこ



視察
不法投棄現場

とです。今後は、「行政の目」だけでなく、市民を巻き込んでの監視体制の構築が有効であると考えます。これからの活動については、あわら市はもちろんです。福井県や警察、各種市民団体から協力してもら

うことが必要だと思えます。このことは今後の委員会運営の課題と考えています。

市街地活性化調査特別委員会

委員会は、平成25年9月議会で、市街地活性化に関する調査、研究を行うために、9人の委員をもって設置されました。この委員会の主な調査事項は、①北陸新幹線整備に伴う芦原温泉駅及びあわら湯のまち駅周辺整備に関する事。②空き家対策に関する事。③その他市街地活性化に関する事です。今回は約2年間の中間報告を行いました。

委員会では、様々なことを協議しましたが、委員からは、常任委員会と重複するテーマもある。よって、事業化が目前に迫っているような事項は、特別委員会における協議内容を常任委員会にフィードバックすること。祭りなどのイベントは、市民の手作りと自主的な運営を原則とすること。最終的には訪れた人がお

しかしながら、まだまだ解決しなければならない課題が山積しており、今後、引き続き当委員会でのこれらの課題について議論していくことが必要です。また、当委



視察
湯〜わくDori

市政について問う!

6月の定例会では、6名の議員が一般質問を行いました。
ここでは、その質問と答弁の要旨を掲載します。(通告順)

- 山本 篤 議員
 - フットボールセンター整備計画について
 - 福井国体について
 - 空き家対策について
- 平野 時夫 議員
 - 環境美化推進について
 - 小学生からのがん予防教育について
- 山川 知一郎 議員
 - 安全保障関連法案に反対を
 - 市民参加のまちづくりを
 - 乗り合いタクシーを廃止し、コミュニティバスの復活を

- 吉田 太一 議員
 - 観光事業について
- 八木 秀雄 議員
 - 人口減少対策のマスタープランとなる「地方版総合戦略」について
 - あわらし市政について
- 山田 重喜 議員
 - 橋本市政3期目の抱負について
 - セイタカアワダチソウの駆除について



観光事業について

吉田 太一 議員 観光事業が及ぼすあわらし市への経済効果は、

経済産業部長 観光は、旅行業と宿泊業を中心として、運輸、飲食、小売、製造業等にまで跨る裾野の広い産業と言われています。

本市における観光消費額は、宿泊費だけでも一人当たりの宿泊単価に平成26年度の宿泊客数82万人を乗じますと、137億円を超えるものと推計されます。

よって、何度も本市を訪れていただけのように観光振興を総合的かつ戦略的に推進したいと

考えています。

吉田 太一 議員 開湯130周年祭はどのように開催するのか。

経済産業部長 開湯130周年祭は、8月6日から12月13日までの130日間、温泉街、JR芦原温泉駅周辺、金津創作の森などを会場として開催します。

主な事業としては、「あわらし湯かけまつり」をはじめ、130周年祭を盛り上げようとする団体等による「にぎわい週末広場」、アマチュア



開湯120周年祭の様子

の短編映画を募集して行う「あわらし湯けむり芸術祭」、市民や観光客の手作りにより、沢山の竹あかりを灯す「あわらし灯源郷」の4事業を予定しています。

吉田 太一 議員 観光協会の取り組みをどのように捉えているのか。

経済産業部長 取り組みの状況は、必要な人材や財源の確保などにおいて、いくつかの課題を抱えていることもあり、発展途上という段階と捉えています。

また、各種事業を委託していますが、現在の協会の人員配置で出来る範囲において、概ね計画どおりに進められたものと思っております。



人口減少対策

八木 秀雄 議員 人口減少が及ぼす影響とその対応策

市長 人口減少が地域に与える影響は、後継者不足による農業などの衰退、それに伴う地域コミュニティの脆弱化、空き家等の増加による住環境や少子化による教育環境の悪化など、さまざまな影響がある他、税収の減にもつながり、地域の活力そのものが失われていくものと危惧しています。



シルバーママサービス「すくすく」

的なまちづくり」「出会い・子育て環境の向上」といった事項について協議し、施策を練り上げたいと考えています。

あわらし市政

八木 秀雄 議員 区民館の早期耐震化対策を行うべきではないか。

市長 以前から耐震改修に対する助成制度を要望してきましたが、平成28年度から国の補助金での対応が可能となりました。

市では、その補助を利用し、自主避難所に指定されている区民館の

耐震改修等に対する補助制度を創設することにしていきます。

八木 秀雄 議員 市の施策を市民に正しく理解してもらうための具体的な方策は、

市長 市民の皆さんに市の情報を正しく知っていただくためには、まず市政に関心を持っていただくことが重要であり、そのためには、情報を丁寧に、分かりやすく発信していく必要があります。

今後も、一層丁寧で分かりやすい情報の発信に努めるとともに、私が直接市民の皆さんと対話する機会も増やしながら、市民の皆さんの市政に対する理解促進に努めたいと考えています。



橋本市政3期目の抱負について

山田 重喜 議員 人口減少対策はどうなっているのか。

市長 市長を議長とする「まち、ひと、しごと創生推進会議」を設置し、これまでの人口減少対策本部は「あわらし総合戦略本部」へ移行します。

総合戦略については、決して他の自治体と横並びではない、自然や環境、資源などを十分生かしたものにしたいと考えています。

山田 重喜 議員 小学校統廃合の進捗状況は、**教育長** 統廃合の枠組みは、北瀧小学校と波

松小学校、新郷小学校と本荘小学校、吉崎小学校と細呂木小学校です。

それぞれ校区内で各種団体の代表、保護者等で組織する検討委員会で協議しています。今後も、保護者や地域の方々に理解いただけるよう丁寧に進めます。

山田 重喜 議員 北陸新幹線の用地交渉及び新九頭竜橋建設負担金は、どうなっているのか。

土木部長 現時点では地権者が270人、潰れ地が約7.2haであると推計しています。関係15集落の内、9集落において、概略設計了解の確認書を頂いています。集落の協力を得ながら早急に用地交渉を進めたいと考えています。

新九頭竜橋建設に伴う負担は、建設区間が市外であることから、本市の建設負担金は発生しません。

山田 重喜 議員 市における対応策はどうなっているのか。

市民生活部長 セイタカアワダチソウは種子のほか地下茎でも繁殖します。

今後は、自然環境や景観の保全、営農活動の阻害防止のため、外来種に対する認識を深める普及活動や、防除への取り組みが重要であると考えており、市民・関係団体等と連携し対応していきたいと考えています。



セイタカアワダチソウ



山本 篤 議員

フットボールセンター整備計画について

山本 建設計画の中止について地元市民や県サッカー協会の理解は得られたのか。

また、県道南中央線計画への影響はないのか。

市長 菅野区役員会及び臨時総会において、経緯の説明とお詫びを申し上げ、ご理解をいただいております。また、福井県サッカー協会へは、建設断念の報告を行い、ご了承をいただきました。

地元区長や議員で構成された「都市計画道路南中央線整備促進同盟

会」が設立され、市としても同盟会と一丸になり、県による事業化を強く要望して参ります。

山本 今後、人工芝コート等の建設要望があった場合、整備するの

市長 費用的な面から専用コートの整備については困難であると考えています。

福井国体について

山本 バレーボール会場の体育館改修工事の総額を試算しているのか。

教育部長 トリムパークかなづ体育館は、県の施設ですので、県へ改修を要望します。農業者トレーニングセンターを全面改修すれば、約3億円が必要と想定されます。

山本 大会の運営スタッフ及びボランティア

など、人員確保はどうするのか。

教育部長 平成28年度からボランティアの募集を始め、29年度末までには必要人員を確保し、30年度には「実務とおもてなし」の研修を実施します。

空き家対策

山本 「空き家等対策の推進に関する特別措置法」を、どう推進していくつもりなのか。

総務部長 7月末までに、各区長にご協力いただきながら調査を実施します。

再利用が可能な空き家については、空き家情報バンクへの登録を推進し、除却が必要な空き家については、法律に基づき「特定空家」の指定を行い、指導、勧告、命令を行っていきます。



山川 知一郎 議員

安全保障関連法案に反対を

山川 第2次世界大戦は誤った侵略戦争であったという認識はあるか。

戦後70年間、日本が平和国家として歩んでこられたのは憲法9条のおかげである。

安全保障関連法案は、再び戦争をする国にしようというもので、憲法違反であり廃案にすべきと考えるが市長の見解は。

市長 過去の過ちを繰り返すことのないよう、平和と安全について考えていくことは国民の義務ですが、安全保障に

関することは、国の責任であり、国会での具体的な議論を期待しています。

市民参加のまちづくりを

山川

今まで、北陸新幹線金沢開業に向けてということ、足湯や県境の館、aキューブなどが建設されてきたが、市民の意見が十分反映されておらず、「税金のムダづかい」との批判が寄せられている。

今後、敦賀延伸に向けて、JRR 芦原温泉駅周辺の整備が進められるが、市民の意見をよく聞き、市民参加を進めるべきではないか。

市長

これまでのハード事業は、ソフト事業と一体的に展開することで、活きてくると考えています。

現在、あわらし市総合振興計画の策定を進めて

平野 時夫 議員



環境美化推進について

平野 あわらし市のごみ問題をどのように認識しているのか。また、改善策はあるのか。

市民生活部長

ごみが散乱している状況を目にするに情けなく恥ずかしい思いに駆られます。

ごみ分別収集の一層の徹底とポイ捨て防止への取り組みを強化します。

毎年6月のクリーンアップ大作戦、3月の地域ごとの江堀り、梅雨明け時の社会奉仕の実施に加え、地元住民や企業で組織する各グループが定期的に広域農道や市道の清掃活動を行っているところ。市としての統一行動を増やすことは難しいと考えております。

現在、小学生連にリユース・リサイクルの見学や学習、ごみ拾いなどの清掃活動を通じてごみに対する意識を高めること、地域や家庭におけるモラルの向上

上が図られるものと考えています。

小学生からのがん予防教育について

平野 がん対策は重要政策である。幼少期からのがん予防教育の導入をすべきではないか。

教育長

がんは日本人の死因第1位であり、成人の約3割が、がんで亡くなっています。

学校教育の中で、健康と命の大切さ、がんの正しい知識と豊かな心やたくましい身体を養うなど、大切な教育の一つであると考えています。



市内小中学校での「がん教育」の導入は、現在、全国各地でモデル校が選定され、取り組みが始まったばかりです。この実践結果を見極めながら検討したいと考えています。

行政視察報告（茨城県下妻市）

平成27年5月26日、茨城県下妻市への行政視察を実施しました。

初代福井藩主である結城秀康公の重臣であった多賀谷左近三常公は柿原地区に館を構えていました。その三常公の出身地が下妻市であるという縁で始まった交流です。今回、下妻市においては「観光振興について」視察しました。

「観光振興基本計画」を策定したのですが、策定にあたり、委員会及びワーキング委員会を設置し、若年層の意見を反映させ、平成22年12月から24年3月の短期間に数多くの協議、検討を行ってまいりました。

ワーキング委員会の検討において、下妻市の特産である梨を使ったカスタード大福のスイーツを開発していました。私たちも食べさせて頂きまし



行政視察の様子

たが、梨のシャリ感が味わえるとてもおいしいスイーツでした。

一番素晴らしいと感じたのは、「下妻食の開発・ブランド化事業」です。下妻市は農畜産業が盛んですが、特に梨が特産となっています。「完熟梨」と付加価値を付け、ブランド化し販売していました。非常に人気があり、タイやマレーシアなど海外にまで輸出していました。更には、山崎パンとコラボし、ランチパックの梨ジャムを全国発売していました。これは農業振興のみならず、市の大きなPRになっていました。

観光振興とは「無いものねだり」ではなく、「あるもの探し」です。

あわらし市においても農業は主要産業の一つであり、「食」を活用したPRは、これからの観光振興にとっても有効であると感じました。

議会トピックス



市議会議員 在職25年特別表彰

杉田 剛議員が全国市議会議長会より表彰を受けました。
(町議28年、市議11年)
※町議時代の在職年数は、1/2で計算されます。

加賀市議会・あわらし議会友好交流議員連盟が国へ陳情



加賀市議会・あわらし議会友好交流議員連盟の議員11人が6月8日、9日に上京し、「北陸新幹線の福井駅先行開業」と「国道8号の整備促進」に関する要望書を県選出国會議員及び関係省庁に提出しました。
(稲田朋美政調会長に要望書を手渡す、笹原あわらし市議会議長④と高辻加賀市議会議長⑤)

平成27年5月 第77回あわらし市議会臨時会 議案等の審議結果及び各議員表決

議決結果		仁佐	山本	平野	毛利	吉田	森	杉本	山田	三上	八木	笹原	山川	北島	向山	坪田	卯目	山川	杉田
○…賛成	X…反対	—…欠席等	※議長は採決に加わらないので「/」で表示																
市長提出議案	専決処分の承認を求めることについて(市税条例等の一部を改正する条例の制定について)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○
	専決処分の承認を求めることについて(国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○
	専決処分の承認を求めることについて(国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○

平成27年6月 第78回あわらし市議会定例会 議案等の審議結果及び各議員表決

議決結果		仁佐	山本	平野	毛利	吉田	森	杉本	山田	三上	八木	笹原	山川	北島	向山	坪田	卯目	山川	杉田
○…賛成	X…反対	—…欠席等	※議長は採決に加わらないので「/」で表示																
市長提出議案	専決処分の承認を求めることについて(平成27年度産業団地整備事業特別会計補正予算(第1号))	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○
	平成27年度一般会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	/	x	○	○	○	○	○	○
	国民体育大会運営基金条例の制定について	可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○
	公民館条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○
	教育委員会教育長(大代紀夫氏)の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○
	監査委員(笹原幸信議員)の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	/	○	○	○
市会案	TPP交渉における国会決議の実現に向けた要望	可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○
	農業政策に関する要望	可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○
請願陳情	年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書(決議)の採択を求める陳情書	趣旨採択	○	○	○	○	-	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○
	子どもの医療費助成制度の窓口無料化についての請願	不採択	x	x	x	x	-	x	x	x	x	/	○	x	x	x	x	x	x



コンバインによる収穫

請願・陳情・意見書

※地方自治法第99条において、提出することができる。

議会は、あわらし市の公益に関する事件につき、意見書を国会や関係行政庁に提出することができる。

●子どもの医療費助成制度の窓口無料化についての請願

「要旨」

子どもは社会の宝であり、将来を担う子どもの健康を守ることは、社会の責任である。子どもの医療費に係る保護者の経済的負担の軽減を望む声が大きくなっている。

よって、子ども医療費の償還払い方式を改め、窓口無料化を強く要望する。

「提出者」 福井県社会保障推進協議会 代表委員 平野 治和 他2名

「結果」 不採択

「不採択理由」

窓口無料化を行う市町村に対して、国保の国庫負担金の減額措置がある。このことは、国保会計を圧迫しかねない。まずは、国庫負担金減額措置の解消を国に求めていくべきである。

●年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書(決議)の採択を求める陳情書

「要旨」

政府は、「公的・準公的資金の運用等の在り方」についての検討を掲げ、年金積立金管理運用独立法人に対し、リスク性資産割合を高める方向の改革を求めている。年金積立金が毀損した場合は、被保険者・受給者が被害を受ける。日本経済への貢献が目的でなく、政府が一方的に見直しの方向性を示すことは問題である。

よって、年金積立金は長期的な観点から安全かつ確実な運用を堅持するよう強く求める。

「提出者」 日本労働組合総連合会福井県連合会 会長 山岸 克司

連合福井福井地域協議会

議長 高島 稔博

「結果」 趣旨採択

●TPP(環太平洋連携協定)交渉における国会決議の実現に向けた要望書

「要旨」

TPP交渉において、衆参農林水産委員会決議を必ず実現し、交渉に関

する情報を国民へ開示することを強く求める。

「提出者」 花咲ふくい農業協同組合 代表理事組合長 富田 勇一

農政連坂井支部 支部長 北島 友嗣

「結果」 国へ意見書を提出

●農業政策に関する要望書

「要旨」

① 特例措置を含めたナラシ対策等の適切な運用

② 27年産米の適正販売に向けた環境整備

③ 飼料用米の生産拡大に向けた環境整備と長期的・継続的な支援の確保

④ 将来を展望できる総合的な水田農業政策の確立

「提出者」 花咲ふくい農業協同組合

代表理事組合長 富田 勇一

農政連坂井支部

支部長 北島 友嗣

「結果」 国へ意見書を提出

●あわらし市農業対策に関する各種要望書

「要旨」

① 有害野鳥対策に関する要請

② 小動物(ハクビシン等)・イノシシ害対策に関する要請

③ 稲力メムシ等の防除に関する要請

④ 農業用ビニール等の廃棄物処理に関する要請

⑤ 園芸・畜産の活性化と振興に関する要請

「提出者」 花咲ふくい農業協同組合 代表理事組合長 富田 勇一

農政連坂井支部 支部長 北島 友嗣

「結果」 厚生経済常任委員会より、市へ積極的に取り組むよう要望

議会報告会を12会場で開催します。

市民の皆さまに日ごろの議会活動を広く知っていただくために、議会報告会を開催します。今回は、定例会の審議内容について報告させてもらい、そのあと意見交換を行います。いずれの会場でもお気軽にご参加ください。

日時	7月28日(火) 19:30~21:00	7月30日(木) 19:30~21:00	7月31日(金) 19:30~21:00
会場	湯のまち公民館	波松区民館	名泉郷会館
	本荘公民館	劔岳公民館	金津本陣IKOSSA(3階)
	河間区民館	ふるまちふれあい会館	伊井公民館
	浜坂区民館	細呂木公民館	北潟公民館

ふるさと探訪

けんがだけ 「劔ヶ岳」

劔岳地区清滝から林道を進み、清滝ダムを過ぎて間もなく、劔ヶ岳(標高568m)登山口に到着します。劔ヶ岳は、古代より霊山として地元民から崇敬されている山です。私の通った館山中学校の校歌にも「東に聳ゆる劔ヶ岳、西に流るる竹田川・・・」と謳われていました。

劔岳村誌によれば、古代、坪江の地に住んでいたオオトノ王(継体天皇)が劔ヶ岳(この時はまだ名前がついていなかった)に登り、坂井平野の治水計画を立て事業を進めていたが、途中で皇位につくことになり、去るに当たって、宝剣と靈蓋(冠)を劔ヶ岳に納め、国土の安泰と住民の幸福を祈念したとのことです。

正保年間に、丸岡の本多飛騨守藩中の者がこの宝剣を掘り出し、飛騨守はこれを丸岡の国神社に奉納し、この時から、劔ヶ岳と呼ばれるようになったということです。宝剣は今も国神社に宝物として伝えられています。

今、劔ヶ岳の頂上には、地元民によって建てられた祠に石像が安置されており、劔ヶ岳神社と称します。何度も倒壊しましたが、地元民によって修復され守られてきました。劔ヶ岳は独立峰として聳えており、晴れた日には福井平野から日本海までを見渡せ、四季折々の眺望はすばらしいものがあります。

金津東小学校は毎年、4年生が登山をしています。できれば、市民のみなさんにも、いにしえに思いを馳せながら、ぜひ一度は登っていただきたい山です。(山川知一郎)



劔ヶ岳山頂

編集後記

今年2月に石川県加賀市議会とあわら市議会が友好交流議員連盟を立ち上げました。その目的は両市が共に課題としている、新幹線敦賀開業の早期実現と国号8号の4車線化の促進です。

その議員連盟が6月8、9日に中央要請を行いました。地元福井県選出の国会議員、稲田政調会長始め、山本議員、滝波議員、更には、石川県選出の岡田議員、佐々木議員に要望しました。特に岡田議員は北陸新幹線整備の委員長です。地元議員ですから前向き話し合いができ、新幹線は8月がヤマ場になるとのことです。国会議員の他、国土交通省の関係部署へも新幹線及び国道8号4車線化の要望書を提出しました。

国土交通省には、早朝より地方から首長や地元選出の議員が各課へ陳情に行く様子があり、中央要請の重要性を実感しました。今後も、目標達成のため、要望活動は継続しなければと思います。(坪田)

編集・発行責任者

議長 坪田 正武

市議会広報編集特別委員会

委員長 坪田 正武
副委員長 山田 正
委員 山田 正
委員 山田 正
委員 山田 正
委員 山田 正

卯山毛平山山坪
目田利野本川田
ひ重純時知正
み喜雄夫篤郎武

発行 あわら市議会 編集 あわら市議会広報編集特別委員会

◆市民に親しまれる、市議会だよりを目指しています。ご意見、ご感想をお寄せください。

〒919-0692 福井県あわら市市姫三丁目1番1号 あわら市役所議会事務局
Tel. 0776-73-8045(直通) E-Mail. gikai@city.awara.lg.jp

